



学校だより

令和7年7月18日発行



“ ふ り 返 り ”

校 長 大 崎 光 幸

十和田湖のほとりに、“乙女の像”が建っています。同じ格好をした女性が向き合い、左手を合わせて立っています。もしかすると、鏡を見るように、自分自身を振り返っているのかも知れません。

この“乙女の像”を創った人は、高村光太郎といいます。高村光太郎は彫刻家であり、詩人でもあります。彼の作った詩に、“道程”という詩があります。

僕の前に 道はない

僕の後ろに 道はできる

というフレーズは、とても有名です。この詩の全文を読むと、この後には、

道は僕のふみしだいて来た足あとだ

だから

道の最端に いつでも僕は立っている

何という曲がりくねり

迷い まよった道だろう

...

ふり返ってみると

自分の道は戦慄に値する と続いていきます。そして、

...

僕の前に 道はない

僕の後ろに 道はできる

ああ、父よ

僕を一人立ちさせた父よ

僕から目を離さないで守る事をせよ

常に父の気魄を僕に充たせよ

この遠い道程のため と続いて終わります。

さて、自分と同じ道（人生）をたどる人はいません。例え、親子でも、双子でも、同じ道をたどる人はいません。また、どんなに偉い人でも、有名な人でも、悩み、迷い、もがきながら生きています。ただ一つ言えることは、みんなが勇気をもって一步を踏み出して生きていることです。異なるのは、時に、自分をふり返ることができる人は、成長につながっているということです。つまり、自分をふり返ることができる人は、次の目標（めあて）を見つけることができるのです。

入学式や始業式で、児童生徒に「一日をふり返り、“がんばったこと、楽しかったこと、うれしかったこと”を、先生や友達に伝えましょう。また、家に帰ったら、家族に伝えましょう。」とお話ししました。余裕のない生活の中で、少しの間、一日を、一週間を、また、ひと月をというように、ふり返りのひとときを、意図的にもつようにできれば、きっと、成長につながっていくことでしょう。



<令和7年度 入学式、始業式>

4月8日（火）、新年度が始まり、午前は本校において始業式、午後は弘前大学50周年記念会館において入学式を行いました。新たな学校生活、新たな年度がスタートすることから、やや緊張するような表情も見られましたが、式が終わる頃には、期待感に溢れ、わくわくするような表情が多くなっていました。令和7年度も楽しく学び、明るく励みましょう。



<運 動 会>

5月24日（土）、令和7年度の運動会が行われました。当日は朝から曇り空で雨も心配されましたが、結果的に雨は降らず、無事に校庭で行うことができました。開会宣言から徒競走、学部団体種目、紅白対抗玉入れ、バトンリレー、閉会宣言まで一人一人が全力で取り組み、手に汗握る白熱した場面が展開されました。記念撮影では、一人一人の表情に達成感が溢れていました。



<小学部団体競技>



<中学部団体競技>



<高等部団体競技>



<紅白対抗玉入れ>



<紅白対抗バトンリレー>

<小学部宿泊学習>

6月19日（木）～20日（金）、小学部のひまわり学級（3、4年）、のぎく学級（5、6年）が宿泊学習を行いました。岩木青少年スポーツセンターに泊まり、様々な活動に取り組みました。



<中学部宿泊学習>

6月26日（木）～27日（金）、中学部1、2、3年生が宿泊学習を行いました。西目屋村に出かけ、様々な活動に取り組みました。



<青森県特別支援学校総合スポーツ大会>

7月10日(木)、県内の特別支援学校が一堂に会し「青森県特別支援学校総合スポーツ大会」が新青森県総合運動公園で行われました。本校からは、中学部・高等部の生徒35名が参加しました。当日は快晴。風がやや強く吹くこともありましたが、一人一人が練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。



○陸上

100m個人 高等部2位

400mリレー 高等部2位

○フライングディスク(個人)

3m 中学部1位

○サッカー

中学部・高等部3位

7月24日(木)～8月20日(水)は夏季休業です。暑い日が多くなります。体調に留意し、また、事故・ケガのないように注意しましょう。休み明け、いつもの元気な笑顔を見ることを楽しみにしています。